

宮崎日日新聞「くらしの相談」掲載記事

○ 国道の案内標識の改善（平成 22 年 3 月 1 日掲載）

【問い】

私は大分県在住のプロ野球ファンです。昨年、春季キャンプの観戦のため、大分県から車で国道 10 号を通過して宮崎市の西部にある運動公園に行こうとした時のことです。宮崎北バイパス（新名爪付近）に設置された「斜め左方向 8 km」の案内標識に従って走行したところ、目的地とは異なるシーガイア方面に行ってしまった。そして、今年の 1 月、別件で宮崎市に車で来たところ、案内標識は以前のままでした。これでは、また、困る人が多く出るだろうと思い、キャンプシーズンに入る前に改善するよう宮崎市担当の行政相談委員に相談しました。

【答え】

相談を受けた行政相談委員が、現地を確認したところ、申出の通りの状況が確認されました。このため、国道 10 号を管理している国の機関に連絡したところ、同案内標識は宮崎市の運動公園を管理している部署が設置していることがわかったことから、同委員は宮崎市に対し、相談内容を連絡しました。その結果、今年の春季キャンプの時期に合わせて案内標識の「斜め左方向 8 km」が「直進」と修正されました。

【改善前写真】



生目の杜運動公園左方向の標示



直後の取り付け道路を左に下りるとシーガイア方面に

【改善後写真】



生目の杜運動公園方面は直進の標示



直後の取り付け道路への下り口にも生目の杜運動公園方面は
国道 10 号を進むようにとの標識が設置